



## お客様とジェイテックとの 発展を願って

2022年12月  
代表取締役社長  
牧 隆

昨年度に続く「JT 技報」創刊2号の発刊にあたり、読者の皆様への思いをここに記したいと思います。当社は2003年会社設立から来年で創立20周年を迎えることとなります。これもひとえにお客様方あつての歴史だと、社員一同、感謝いたしております。

この間、当社は、当初日本原燃株式会社の再処理事業から、そして今や同社サイクル事業全般において安定運転とコストダウン、そして地元企業との共生を図ることを目指し、そして大いに貢献できるよう、一貫して技術力と現場力を持った実力を蓄え実績を重ねて参りました。

現在の当社は、プラントの運転業務や機械、電気、計装などの保守業務に加えて、設計、エンジニアリングなどのカスタマーサービス、更新設備設置工事、技術習得・訓練に係る装置の開発／訓練センターの運営なども手掛け、国内外の種々のメーカー様、工事会社様とお付き合いさせていただき、地元企業との連携や相互研鑽を含め、プラントライフサイクルのあらゆる場面を通じて、お客様に貢献できる企業でもあります。

これらは、当社が日本原燃株式会社の100%子会社であることで、原燃サイクル事業における各種事業において置かれた環境で培われたもので、これらを受けて、昨年度からは原燃サイクル事業以外の事業展開を徐々に本格化しており、またその展開を原燃サイクル事業へもフィードバックすることで、更なる技術力向上と顧客サービスに努めていきたいと思っています。

昨年度創刊されたこの技報はWebベースでの紹介を念頭に置き、当社が取り組んでいる技術を中心に分かりやすくご紹介することといたしております。今年度は特に対象技術の中でも、当社が特徴的に有する技術に関わるもの、これまでに手掛けた改善、工事や製品販売に関わるもの、当社を支える安全品質や訓練に関わるものに着目したテーマを取り上げて、ご紹介します。

当社はこれからも、社員一人ひとりの技術力向上に向けた活動と組織が有する技術の蓄積・継承を行い、『「技術」と「人」で世界を驚かせる ROKKASHO』のビジョンの下、当社固有の技術にも裏付けされたコミュニケーション力をベースに、お客様の発展と当社の躍進に繋がるように、社員一同全力を尽くす所存です。

ぜひともこの技報をご高覧いただき、当社HPの各記事とともに、当社の今を知っていただければ幸いです。